

「地球温暖化抑制」と「脱原発」を実現するために 自然エネルギー拡大募金のご案内

生長の家は、持続可能な未来社会実現のため、「地球温暖化抑制」と「脱原発」を目指し、自然エネルギーの利用拡大に取り組んでいます。会員・信徒の皆様をはじめ、志を同じくする方々から広く寄付を募り、太陽光発電所や地熱発電所の設置を進めています。

2019年1月からは、「大分・別府地熱発電所」「福島・西郷ソーラー発電所」を対象に寄付を募っています。寄付者が希望される場合、発電所敷地内やWebサイトにお名前を掲示します。

募金への皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



「生長の家 大分・別府地熱発電所」

設置場所 大分県別府市大字南立石鳥ノ湯

発電能力 50kW

予想年間発電量 約 34.5 万 kWh

※2019年発電開始予定

「生長の家 福島・西郷ソーラー発電所」

設置場所 福島県西白河郡西郷村大字小田倉

発電能力 771kW

年間発電量 約 92 万 kWh/ (2018 年度)

※太陽光パネル 255W 3,024 枚設置

＜募金方法＞ 1口1万円で、1口以上の募金を募集しています。

●「生長の家 大分・別府地熱発電所」への募金

- ①生長の家の拠点(教化部)の窓口で申込み
(申込書に寄付金を添えて申込み)
- ②Webサイトからの申込み(クレジットカード決済可)

生長の家 自然エネルギー

検索

<https://www.jp.seicho-no-ie.org/naturalpower/>



自然エネルギー拡大募金
Web サイト

●「生長の家 福島・西郷ソーラー発電所」への募金

生長の家の拠点(教化部)の窓口で申込みください。(申込書に寄付金を添えて申込み)

※ Webサイトからの申込みは受け付けていません。

自然エネルギー拡大運動とは、環境に配慮する意識の高い世界の方による、人と環境に優しい再生可能なクリーンエネルギーへの取り組みです。皆様からの募金によって自然エネルギーによる発電所を建設し、その利益と募金で全国に自然エネルギー運動を拡大し、地球に優しい発電を目指します。

原子力発電のデメリットと環境保全

東日本大震災以降、原子力発電のデメリットが指摘されています。事故が起きた場合の危険性、使用済み核燃料の管理や放射性廃棄物の処分など、多くの問題を解決できていないのが現状です。一方、日本の電力消費量は増え続け、膨大な発電量を必要としています。

電力自由化の波

こうした背景から今、電力自由化が推進されています。日本では、2016年4月の法改正により、家庭などに向けた電力小売りが全面自由化されました。従来、地域ごとに決められていた電力会社だけでなく、幅広い企業が電力を消費者に直接販売できるようになりました。自然エネルギー拡大運動もこれに参画し、生長の家の自然エネルギー発電所で発電した電力は売電し、一般家庭に提供しています。さらに地熱発電は、大分県教化部の新会館(建設予定)に供給され、世界でも多くの類をみない地熱発電によるゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)を目指します。環境問題は、少しづつではありますが、政府や一部の研究者だけではなく、私たち一人一人が自分で解決出来るようになってきているのです。